

Ladies&Girls Topics

1

平成28年度 キヤノン ガールズ エイト 第14回JFA北海道ガールズ・エイト (U-12) サッカー大会報告

初秋の侯、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より道北地区のサッカーの諸事業に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、先月行われました上記大会の報告をいたします。以前は、選抜チームでも単独チームでも OK! という大会でしたが、3年前からトレセンの地区別対抗戦という形の大会となりました。

全道を札幌・道央・道南・道東・道北（旭川協会・道北協会・宗谷協会）の5地区に分け、原則として6年生が中心のチームであるということなので、5地区の6年生女子の登録人数によって各地区の出場チーム数が決められています。登録数の多い地区は2チーム出すことができますが、道北チームは今年も1チーム（18名まで）です。今回は道北協会から1名（名寄）と宗谷協会から2名（稚内・浜頓別）の3名が加わり、旭川協会の13名と合わせて16名で大会に参加しました。

また、参加するに当たって、チームに女性コーチ1名を入れること、女性審判又はユース審判（高校生審判）を帯同することなどが義務づけられていますが、今回は監督・コーチとも女性、そして帯同審判も女性と、ガールズ・エイトにはふさわしい陣容で参加することができました。

1. 期 日 平成28年10月1日(土)～2日(日)

2. 会 場 帯広の森球技場（帯広市南町南7線56番地7）

3. 参加者 引率者 河原 しおり（北海道女子トレセンコーチ道北担当）
坂本 葵（北海道女子トレセンGKコーチ）
帯同審判 赤津 美砂（旭川審判委員会ユース審判：旭川南高3年）

参加選手

1. ①三浦雪愛	(ネイバーズ)
2. ②水口ゆいか	(ネイバーズ)
3. ③押方彩佳	(GBB)
4. ④江良ひより	(GBB)
5. ⑤島森凜杏	(ニース)
6. ⑥菊池萌雪	(東五条サッカー少年団・美瑛)
7. ⑦河地恵里	(中富良野サッカー少年団)
8. ⑧川本美羽	(エスピーダ)
9. ⑨佐藤葉月	(増毛サッカー少年団)
10. ⑩小笠原由衣	(末広北サッカー少年団)
11. ⑪木谷優那	(末広北サッカー少年団)
12. ⑫田邊結希	(名寄ピアシリサッカー少年団)
13. ⑬村元真心	(永山サッカー少年団)
14. ⑭桂美聖	(増毛サッカー少年団)
15. ⑮小熊羽菜	(稚内・最北)
16. ⑯若山紗久良	(浜頓別)

出場チームと試合結果

【グループ A】

☆札幌ガールズクリニックホワイト（札幌）
☆道央ブロックトレセン（道央）
☆道南 BTC U12 DX（道南）
☆道東トレセン（道東）

【グループ B】

★札幌ガールズクリニックレッド（札幌）
★道北トレセン U-12（道北）
★道南 BTC U12 SP（道南）
★道東選抜（道東）

1日目（10/1）予選リーグは2勝1敗、2位で2日目の決勝トーナメントに進みました。

①道北トレセン 1－3 道南 SP

（得点：水口ゆいか）

②道北トレセン 5－0 札幌ガールズクリニック・レッド

（得点：江良ひより・佐藤葉月・木谷優那②・小笠原由衣）

③道北トレセン 4－2 道東選抜

（得点：佐藤葉月②・村元真心・押方彩佳）

2日目（10/2）決勝トーナメント

準 決 勝 道北トレセン 0－2 道央トレセン

3位決定戦 道北トレセン 0－8 道南 SP

最終的には4位という成績でした。他の地域の選手達とくらべると個の力の差は大きく、その一つに道北の選手の「コンタクトプレー」の弱さが目立ちました。「絶対、点数を取られたくない！」「絶対、点数を取ってやる！」「絶対、1対1には負けない！」という強い気持ちはプレーに表れるものです。自分のボールは簡単に取られ、そして、相手のボールは取れず、最後は跳ね飛ばされる。そんな場面が多々見られました。やはり女子といえども、「戦う」という気持ちは絶対必要です。

力の差の二つ目は、サッカーの基本の「トラップ」「ドリブル」「パス」に目的がないということです。どこにどのようなトラップをするのか。何のためのドリブルなのか、パスなのか。それは、技術が劣っていることもあるだろうし、周りを見てないということもあります。

ただ、これらはすぐに身に付くものではなく、そして、身に付かないものでもありません。全ては、個の意識の強さにかかっています。今回の遠征で、言われたことや感じたこと、やってみたことなど、すぐに実践に移すことが大事です。少年団の練習に意識を持って取り組み、自分一人でもやり続けるなど、個の強い意識が大切です。今後、それに期待したいと思います。ちなみに、好き嫌いをしないでたくさん食べる！ということも、すぐに実践できることの一つです。今大会の遠征で得られた経験をもとに、今後の自チームでの活躍を大いに期待しています。

尚、応援に来られた保護者の方々には、遠いところ大変ご苦労様でした。

今回の遠征終了にあたり、選手ならびにチーム関係者・保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。今後もよろしくお願い致します。

（女子委員会委員長：鈴木康宏）